

国際ロータリー第2550地区

森本敬三ガバナー公式訪問

1. 森本ガバナー御出迎え (午前10:00)
2. 森本ガバナーと会長・幹事懇談会 (コンペルーム①にて)
 - * 記念撮影 (森本ガバナー、川嶋ガバナー補佐、高山会長、刀川幹事、4名のみの記念撮影)
3. 森本ガバナー入場 (12:30 コンペルーム②にて)
 - * バナー交換
 - * ガバナー挨拶
 - ・今年度は、異例尽くして色々な研修や協議会が開催出来ない中、会員のモチベーションが上がらないという事で、ガバナー公式訪問はコロナ対策をとって、会長・幹事懇談会をメインにさせて頂き、実施することにしました。例会に参加することは少なく、本日は壬生クラブの皆様にお会い出来て嬉しく思います。
 - ・今年度の大きな変化は、ローターアクトがロータリークラブと同じ立ち位置になった事です。今まではローターアクトは青少年プログラムの中にありましたが、7月1日からローターアクトクラブの定款が施行され、新しい取り組みが始まりました。
 - ・今年度のホルガー・クナーRI会長のテーマは「ロータリーは機会の扉を開く」ですが、テーマロゴのクランベリーカラー (赤) は、ローターアクトであり、ゴールドとブルーはロータリーのシンボルカラーです。課題に立ち向かい、ローターアクトや若い職業人にロータリーの扉を開き、私達のあらゆる活動が、どこかで、誰かのために機会の扉を開いています。こうしたロータリーの取り組みをご理解頂ければと思います。
 - ・五大奉仕委員会の活動が、ロータリーの魅力を深めていくものだと感じ、私の今年度のテーマを「魅力ある元気なクラブにしましょう」とさせて頂きました。地区内48クラブが、元気な熱を帯びるようなクラブになって、活発な活動をして、地域の人達にも参加して頂き、ロータリーを知ってもらおう。五大奉仕の活動がロータリーの活性化に繋がると思います。
 - ・壬生ロータリークラブの発展と皆様のご健勝を祈念致しまして挨拶とさせて頂きます。
 - * 新入会員入会式 (森本ガバナーによって執り行う)
 - ・中川博登様にロータリークラブから「会員章 (バッジ) ・ロータリーの目的・四つのテスト・ロータリー手帳・ジャンパー・帽子」が贈呈されました。
 - * 森本ガバナー退出 (12:50お見送り)
4. 例会内容
 - * 会長挨拶 (高山会長)
 - ・本日は、森本敬三ガバナーをお迎えしての公式訪問です。ガバナーは、会長・幹事懇談会だけに出席してお帰りになる予定でしたが、例会に顔を出して頂き、ご挨拶を頂くことが出来ましたこと嬉しく思います。また、中川博登様の入会式を執り行って頂きました。中川様のご入会おめでとうございます。今後とも宜しくお願い致します。

* 幹事報告 (刀川幹事)

- ・地区より「第7回日台ロータリー親善会議福岡大会開催中止のご報告」が届いております。
- ・地区より「2022年度 規定審議会への立法案提出の件」が届いております。
- ・ロータリーの友よりアンケートが届いておりますので、配布致します。(締切10月20日)

* ニコニコ・親睦ボックス (広瀬会計委員長)

- ・森本敬三ガバナー (本日は、宜しくお願ひ申し上げます)
- ・川嶋健市ガバナー補佐 (森本敬三ガバナーの公式訪問を歓迎致します。どうぞ宜しくお願ひ致します。中川新入会員歓迎致します)
- ・高山会長 (森本ガバナー歓迎、中川新入会員歓迎)
- ・刀川幹事 (森本ガバナーを迎えて。9月19日県内神職の皆さん奉仕頂き、抜穂祭を盛会に納めました。中川新入会員歓迎)
- ・松本会員・栗原会員・黒川会員・渡邊会員・中山健会員・奈良部会員・田中会員・若松会員
- ・鈴木仁志会員・中山博文会員・広瀬会員 (森本敬三ガバナー公式訪問歓迎)

本日のニコニコボックス投入額：12,000円 親睦ボックス投入額：21,000円

合計：33,000円

累計：223,000円

* 新入会員挨拶 (中川博登様)

- ・壬生町と栃木市で介護事業を運営させて頂いております。今年46歳になります。この度、高山会長からお誘いを受けまして、壬生ロータリークラブさんへ入会させて頂くことになりました。高山さんとは家が近所で子供の頃には、大変お世話になりました。入会して自分に何が出来るのか分かりませんが、一生懸命頑張りたいと思いますので、宜しくお願ひ致します。

* 委員会報告 (中山博文IT準備委員長)

- ・壬生ロータリークラブホームページ開設について検討をお願いしたいと思ひます。現在2社に作成依頼して、予算の見積が届きましたのでご報告します。

ケーブルテレビ(株)：469,700円(作成初期費用。月額利用料別途発生)

(合資)マーキュリー：72,000円(Webサイト作成費。毎年維持費6,000円)

《協議の結果》

双方の会社が見本として作成したものを見てみたい。委員会で予算を立てて理事会で諮る。

* 森本ガバナー公式訪問について (高山会長)

- ・10時に森本ガバナーが到着され、歓談後10時30分から12時まで懇談会を実施しました。今回は新型コロナウイルス感染症対策として、会長幹事のみのお出席で執り行いました。森本ガバナーご挨拶(例会前とほぼ同じ内容でした)の後、会長・幹事からの方針・課題を説明(川嶋AG報告書の通り)。

《森本ガバナーよりの提言》

- ・歴史を振り返る重要性について。日本にロータリーが誕生して100年。ここまで来るのには非常に困難な道のりだったと思ひます。第二次世界大戦中などは、敵国思想となりうるため先輩たちは多くの知恵を絞りながら活動していた。国旗を掲げ、国歌を斉唱するなど現代の例会に通じているものもある。「奉仕の理想」をもう一度再確認してみてください。
- ・単年度では難しい取り組みも、クラブ戦略会議を開き、長期ビジョンとして口頭ではなく文



章化して現況報告書に載せるなどすると、継続して取り組める。

- ・RI（国際ロータリー）ホームページをチェックしてほしい。世界的価値観を感じることができると思います。
- ・一つの奉仕活動からの広がりを考えてみる。地域のNPOや各種団体を巻き込み、それぞれをコーディネートする等ロータリーの立ち位置を見直す。
- ・若い会員獲得に向けて。会社員や公務員等給与所得者向けの会費設定や例会開催方法の工夫など、従来にない柔軟な取り組みが有効。
- ・退会防止。ドイツ（RI会長出身国）では極端に退会者が少ない。理由は共通の価値観を有しているから。入会のハードルを低くし、退会のハードルを高くする取り組みが有効。
- ・クラブの活性化の鍵は、5大奉仕委員長に係っています。知恵を出し合い活動してください。中堅会員がベテラン会員と新人会員のつなぎ役になることで世代間ギャップを埋める。懇談会に先立ち、先日行われたマスクケース贈呈式のテレビ放映のVTR、新聞記事等をご覧頂きました。「こうした活動は、子供たちにも、親たちにも記憶に残る。継続的に実施することで地域に浸透していきます、是非ロータリーの友や月信に投稿し情報を発信して下さい。」との提言を頂きました。



9月 基本的教育と識字率向上月間・ロータリーの友月間

9月 30日 (水)	休会		
10月経済と地域社会の発展月間・米山月間			
10月 7日 (水)	会員卓話 (黒川会員)	理事会	星の宮CC
14日 (水)	休会		
21日 (水)	会員卓話 (鈴木仁志会員)		星の宮CC
25日 (日)	地区大会 (本会議)	会長・幹事のみ出席	大田原市
28日 (水)	休会		